

令和2年度 第3回青少年問題協議会(書面開催) 回答書

※ご意見を頂いた委員のみ記載しています。

議題1.消費者教育推進事業に対する質疑応答(意見一覧)			
発言者	分類	内容	回答
山下副委員長	ご意見	消費者教育について、ご尽力いただき感謝申し上げます。 今後、高校家庭科で金融(投資)教育が導入される等、アクセルとブレーキを同時に踏むような難しさも想定されるので、学校教育との連携の下で、取り組みの維持・発展をお願いできれば幸いです。	高校家庭科で金融(投資)教育が導入されるという情報提供ありがとうございます。 これからも、地域経済振興課単独ではなく、学校教育課や関係機関と連携し、若者への消費者教育を推進していきたいと思います。
入江委員	ご意見	愛護委員会では、3年程前に成年年齢が18歳に引き下げられることでクレジットカードやネットでの買い物が増えるのではないかとということで、消費者センターから班集会に来ていただいたり、委員会研修会で若年層の消費者トラブルを防ごうというテーマで講演に来ていただいたりしました。いよいよ実施されたときには、実際に合った情報をもと私達も活動に活かせるのではないかと思います。	例年、青少年育成愛護委員の班集会で若者の消費者トラブルに関する出前講座を実施していましたが、今年度はコロナ禍で実施できませんでした。班集会に限らず、消費者トラブルを未然に防ぐための消費生活相談員による出前講座の依頼も随時受け付けておりますので、ご希望の際はご連絡ください。
中谷委員	ご意見	消費者教育事業、子育て世代包括支援センター、これらを起動するには役所だけが動いては、軌道に乗せるには、見えない部分が多すぎる。役所はもつと地域、住民を動かす。今そういうシステムで動いてられるかもしれませんが、一般には見えてきません。大人・子どもに見える、知られる活動をしていただきたい。 以前、子育て支援で産後のケアに携わったことがあります。そこでよく聞いた事は、役所の人はマニュアル通りでそれ以外の回答が得れない。若い人は、おぼえた事をそのまま言っていると聞きました。 若い世代のトラブル、なぜ、どのような事がおこっているか地域を動かして細部まで見渡していただきたい。イベントや出前講座、出向いていかなないと参加できないのではなく、子育てママ達が集まる時間帯、場所、子ども達が多くみられる放課後の公園、大人たちのジョギングコース等紙芝居的な講座もあっても良いかなと思います。年齢を問わない地域のボランティアに参加していただいて地域を動かす。 今、私は地域のスポーツ活動に参加しています。数年前、小・中とひきこもりの青年がご近所のメンバーに連れられて参加しました。そのスポーツが彼に合ったようで、年齢層の高いメンバーの中、毎回皆に励まされて参加し、夜の高校に入学、クラブ活動でそのスポーツを続け、3年にはキャプテンになり、後輩の指導をし、大学生になりスポーツを続け、時間があれば私たちのスポーツ活動も、来ます。年齢層の高い人への配慮もできるいい青年に成長しています。地域の方だと思います。こういう活動が増えればと思います。	平成29年度より毎年消費生活サポーター養成講座を開催し、地域の見守り活動にご協力いただける方をサポーターとして登録しています。サポーターの役割は可能な範囲での地域での見守り、消費者トラブルで困っている人へ消費生活センターを案内、地域で起こっている消費生活トラブル情報を消費生活センターへ提供すること等です。実際にサポーターがトラブルで困っている方を消費生活センターへ案内していただいたこともあります。また、サポーター登録者の多くが会員となっている芦屋市消費者協会が令和2年4月1日に再始動しました。今年度はコロナ禍のために十分な活動ができませんでしたが、今後、消費者トラブル防止の啓発活動をはじめ、消費者教育推進への取組を市と連携しながら行っていく予定です。 また、消費者問題への無関心層に対する啓発方法は今後検討していきたいと思います。

議題2.子育て世代包括支援センターに対する質疑応答(意見一覧)			
発言者	分類	内容	回答
渡部委員長	ご意見・ご質問	①他市で子育て総合窓口を設けるところが増えつつあります(「ねうぼら」という名称のことが多い)。本市ではどのようになっていますでしょうか。 ②ホームページに「わくわく子育て」(子育てサポートブック)が掲載されています。その中の「子育てカレンダー」には妊娠中～6歳の就学前期の施策や取り組みが一覧になっています。このカレンダーを「学齢期」、「思春期」、「青年期」まで延長し、関連する情報サイトに導くような工夫もできそうです。担当部署を超えた横の連携と、年齢を青少年期までのばした縦の連携を創ってきたいものです。	①本市では、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を目的とし、妊産婦・乳幼児等、市民が気軽に立ち寄ることができる相談窓口として、「子育て世代包括支援センター」を開設しております。 ②ご意見ありがとうございます。本市の子育てサポートブックは、妊娠期から子育て期を中心に育児支援の一助となるよう作成しております。育児支援が必要な子育て世代を就学前としており、カレンダーには掲載されていませんが、就学後については、学校教育課等関係機関と連携しております。
山下副委員長	ご意見	子育て世代包括支援センターについて、着実に相談実績を重ねられている様子、心強い限りです。気軽に相談できることが大事かと存じますので、可能な範囲でSNS、メール等でのつながりもご検討いただければ幸いです。	ご意見ありがとうございます。現在、電話・面接・訪問等で対応させていただいており、芦屋市役所のメールフォームから問い合わせがあった場合、担当者に転送され対応しています。今後も、気軽に相談できる体制を心掛けてまいります。
中野委員	ご意見	「子育て世代包括支援センター」について、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供することを目的としている点で非常に期待を持てる事業であると思われる。実際に専門家・専門施設の連携を取り、体調者にきめ細かなサービスができるかどうか、色々検討しながら進めて頂けると有難いです。またシニア世代のボランティア希望者に参加して頂く事でシニア世代の生きがいや認知症等の予防にもつながるのではないかと考えます。もちろんシニア世代だけでなく幅広い世代のボランティア・サポーターの協力を得ながら実施すると良いのではないかと考えます。専門家にすぐ相談すると良いのですが、ハードルが高い場合、ボランティア・サポーターに相談できる体制作り等も作れると良いのではないかと思います。(専門家に相談するほどの事でもないちょっとした悩み相談など)ボランティア・サポーターから専門家につなげた方が良い相談は、つなげてもらう。虐待予防にもつながるのではないかと考えられます。	ご意見ありがとうございます。 子育て世代包括支援センターが妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援ができる背景には、地域の様々な関係機関とネットワークを構築する必要があります。 今後も、地域における子育て支援にかかわる人や関係機関との連携を、より一層進めてまいります。
入江委員	ご意見	対象が妊産婦及び乳幼児ということで、私達にあまり関わりのない分、また機会があれば実際にお話を伺って、知識としてもってたいです。	ご意見ありがとうございます。 子育て世代包括支援センターは、妊産婦・乳幼児だけでなく、子育てを見守る市民の相談にも対応しております。機会があれば、ぜひお立ち寄りください。
中谷委員	ご意見	議題1と同じ。	ご意見ありがとうございます。 子育て世代包括支援センターでは、妊産婦や乳幼児等、市民が気軽に立ち寄れる場所として周知し、また、子育て世代包括支援センターの保健師が地域の遊び場へ出向いての相談も実施し、一人一人に合った子育て支援を実施しているところです。 今後も、見える活動を目指し、子育て世代包括支援センターの周知を図っていきます。
守上委員	ご意見	現在親子ひろばのような親子(乳幼児)で通える場所が予約制で人数制限もあり十分に機能していません。子ども園や保育所の様子を見ると、今でも大勢で群がって遊んでいます。それを考えると、参加したいかなかなか電話予約もできず、親子でストレスを感じている例が結構あるので、あまり神経質にならず、今までのように自由に受け入れてあげてほしいと思います。	子育てセンターが実施するひろば等事業は、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら実施しているため、予約制となっています。定員制・予約制のため、利用者の方にはご不便をおかけしますが、御理解・御協力をお願いいたします。なお、電話での相談は随時対応しております。
中西委員	ご質問	対象は妊産婦、乳幼児ということですが、この時期に相談を開始したケースで、小学校に入学した場合の取り扱いはどうですか？または他機関に紹介などされますか？	子育て世代包括支援センターで就学前まで対応していますが、就学後も継続して支援が必要な場合、学校教育課、子ども家庭総合支援室等の関係機関と連携しております。

議題3.子ども・若者計画評価方法に対する質疑応答(意見一覧)			
発言者	分類	内容	回答
渡部委員長	ご意見	今回の資料をホームページに掲載してはいいかがでしょうか。	評価方法について、いくつかの改善案をいただいております。そちらについて検討し、改良を加えたものについて掲載させていただきたいと思います。
山下副委員長	ご意見	評価について、充実した取り組みをありがとうございます。「評価疲れ」にならないよう、できるだけ簡便で要を得たくみとなるのが大切だと思います。ご提案に賛同します。ご負担の少ない形であれば幸いです。なお、3段階評価の「充実」におけるB「～進捗がみられたもの」は、Aの文言との違いや序列関係が少し分かりにくいことも感じました。B「～一定の進捗が見られたもの」等としても良いかと思われた次第です。	提案へのご賛同誠にありがとうございます。 3段階評価「充実」におけるA,Bの違いについてのご意見につきましては、選択肢の相違を明確になるよう改善させていただきます。
北尾委員	ご意見	子ども・若者計画評価方法のうち、「充実」の中のA「内容が充実できたもの」とB「内容に進捗が見られたもの」の違いが分かりやすく示されればよいのではないかと思います。C「充実できなかったもの」はBの内容も含むような文言ですが、事業の進捗が見られなかったと考えればよいのではないかと感じました。	ご意見誠にありがとうございます。 A,Bの相違点とCの選択肢についても、より他の選択肢と混合することの無いよう、改善させていただきます。
中西委員	ご意見	新計画実施初年度で評価検証が難しいと思いますが、PDCAを意識して、次年度の取り組みの方向性まで出せるよう方法を検討されたい。	ご意見誠にありがとうございます。 現時点での評価のみではなく、次年度の取り組みについても明確にさせていただけるよう、評価シートの改善をおこないます。